



本事業実施時、レーザー誘導方式無人フォークリフトと移動ラックを組み合わせた物流センターは全国初の試みだった。目視作業が不要なほか、追い越しや旋回がスムーズなため、作業スピードは有人リフトと比較しても遜色がない

## 「WMS(倉庫管理システム)」を自社開発し、全国へ発信 付加価値の高い“3PL”サービスの確立を目指す

※3PL(サードパーティ・ロジスティクス)：荷主でも単なる運送事業者でもない第三者である物流専門企業が、荷主となる企業の物流を一括して受託する物流形態

1984年、車両7両、社員7人で運送業として創業。現在は車両580両、社員1400人を超え、関東・東北にも進出。ダイバーシティやワークライフバランスの推進、先端技術の導入など常に先駆的な取り組みを続ける総合物流企業として全国的にも注目を集める「エース」。目標である物流網の全国制覇と2024年の売上高300億円に向けて全社一丸となり邁進する。



無人リフトと電動ラックに指示を出す機器・ハンディターミナル

本事業では、同社「石狩第7物流センター」に自社開発したWMSを導入。レーザー誘導方式無人フォークリフト(AGF)とレールレス移動ラックの組み合わせという、全く新しい自動化設備を構築した。24時間365日入出荷可能な物流センターをコンセプトに、延べ床面積1万㎡のうち4分の1を占める無人エリアをAGF3台が縦横無尽に自動で走り回る。荷さばき作業の省力化や労働時間の短縮など多面的効果がもたらされている。



## 事業の背景

### 物流は経済の血流で物流センターは心臓 イノベーションで挑む物流業界の課題解決

衣食住にかかわる必要なモノを、必要な時に、必要な量で、必要な場所へ届ける一連の業務管理が物流の仕事であり、大切なライフラインの一つだ。物流は経済の血流で、物流センター（倉庫）は心臓に該当する。

物流現場の自動化・デジタル化・省人化・省力化が進んできてはいるが、業界全体が物流センター内作業員の人員不足、センター周辺の待機時間（手待ち時間）が要因となるドライバーの長時間労働といった問題を抱えており、それらを改善・解決する機器やシステムの導入・活用を一層強化し、イノベーションを生み出すことが求められていた。

## 実施内容

### 無人フォークリフトと移動ラックを連動 WMS導入し物流作業の効率上げる

本事業で、入出荷管理から在庫管理、物流コスト管理まで、物流センター内のさまざまな業務を行うための機能を一元管理するWMSを導入した。大型トラック1台分を30分弱で荷役する無人フォークリフトと移動ラックが連動。あらゆる業種・業態の顧客ニーズに合わせた物流作業に対応する。大手物流会社が運用するWMSと比較すると、同社のWMSは業界でも画期的な“現場発”のボトムアップの“一点もの”であり、現場とズレのない無駄を省いた設計と汎用性の高さが最大の特徴となっている。



「WMSの頭脳」として物流センター内のさまざまな業務を効率的に行うための機能を一元管理する

## 事業成果

### 省人・省力化、生産性向上など多面的効果 革新的システム、北海道から全国へ発信

自社開発WMSの導入により、荷さばき作業の省人・省力化や労働時間の短縮、人手不足の解消、作業精度と生産性の向上、ドライバー待機時間の大幅な短縮を実現した。全国でも例を見ない先進的・独創的なシステムの構築・運用の注目度は非常に高く、現在まで全国から50団体430人が見学に訪れている。今後はWMSの運用方法をブラッシュアップし、より付加価値の高い3PLサービス提供の実績とノウハウを積み重ね、同社他物流センターへの導入・展開も視野に入れている。



## VISION

代表取締役会長（CEO） 林博己氏

創業以来「お客様のお役に立つことは何か」を追求してきました。品質重視の本物志向を貫くことで、お客様から真のパートナーと認めていただき、その絆を確かなものにする事で当社はここまで成長してきました。心のこもったサービスの実践にはスタッフの高いクオリティと仕事に対する熱意が必要です。当社は「物流業はサービス業である」を経営の信念とし、そのサービスを実践する「人」の育成を第一に考えています。物流はどんなに時代が変わっても決して変わらない仕事であり、常に社会から必要とされ世の中を支えるインフラの一つだと考えています。自然災害の発生やウイルスの感染拡大などの非常時でも決して「滞らない物流」を目指し、実現してきました。これからも理想の物流業に一步でも近づけるよう誠心誠意努力してまいります。



同社の成長を支える大きな要因の一つが「経営方針書」だ。林会長が毎年度作成し、小冊子にまとめ、パートを含めたすべての従業員、荷主企業、金融機関に内容を周知・説明する。「会社の進むベクトルの統一をし続けてきた。それだけですごい力を発揮できる」と林会長

「物流はサービス業」信念に本物志向貫く  
「非常時でも滞らない物流」目指し顧客の発展に貢献

## COMPANY DATA

### 株式会社 エース

総合物流企業 エースグループ 本部  
（株式会社エース 石狩営業所・石狩第1物流センター）  
TEL.0133-74-8833 FAX.0133-73-7507  
http://www.e-ace.jp

- 所在地：〒061-3241 石狩市新港西1丁目742-10
- 代表者名：代表取締役会長（CEO） 林博己
- 資本金：8,000万円
- 従業員数：1,460名（2021年11月現在）
- 設立：昭和59年（1984年）6月
- 事業内容：輸送サービス（北海道、東北、関東22カ所のネットワーク）、物流サービス、人材サービス、一般運送、引越しサービス、商品の一時預かり、除雪・排雪など